

健康づくり課

健康づくり課業務概要

1 特定健康診査・特定保健指導

生活習慣病の予防に重点を置いた取り組みが重要課題となるため、内臓脂肪型肥満に着目した「特定健康診査」を実施し、健診結果によりメタボリックシンドローム該当者・予備群を選定し、「特定保健指導」を実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

2 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に胃がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

3 子宮頸がん検診

20歳以上の女性市民を対象に子宮頸がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

4 乳がん検診

30歳以上の女性市民を対象に乳がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

5 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に肺がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

6 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に大腸がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

7 前立腺がん検診

50歳以上の5歳刻みの年齢の男性市民を対象に前立腺がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

8 肝炎ウイルス検診

40歳以上の市民（過去に肝炎ウイルス検診に相当する検診を受診した者は除く）を対象に肝炎ウイルス検診の受診促進を図り、自身が感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関で受診することにより、肝炎に関する健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的として実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

9 風しん抗体検査

先天性風しん症候群対策として、平成26年度より、妊娠を希望する女性及びその配偶者または妊婦の配偶者に対し、風しん抗体検査を実施した。

また、追加的対策として、令和元年度に、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対して、個別に勧奨通知を送付し、風しん抗体検査を実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時停止した。

10 予防接種事業

予防接種法に基づき、ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎（ポリオ）・麻しん・風しん・日本脳炎・破傷風・結核（BCG）・Hib感染症（ヒブ）・肺炎球菌感染症（小児がかかるものに限る）・ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）・水痘・B型肝炎・ロタウイルス感染症・インフルエンザ・肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）の定期予防接種を実施した。

肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）については、市で独自に対象範囲を拡大し、65歳以上で接種歴の無い市民を対象に実施した。

平成30年1月1日より、特別の理由により免疫が消失した子が受ける任意予防接種の費用助成を、平成30年12月25日より、風しんの抗体価が十分でない妊娠を希望する人及びその配偶者等、並びに風しんの抗体価が十分でない妊娠中の人の配偶者等に対し、風しん予防接種の費用助成を、令和2年4月1日より、平成31年4月2日以降生まれの1歳の子に対し、おたふくかぜ任意予防接種の費用助成を市独自に実施した。

また、令和2年10月1日より定期予防接種となったロタウイルス感染症の予防接種について、定期予防接種の対象とならない令和2年4月2日から令和2年7月31日生まれの子に対しロタウイルスワクチン任意予防接種の費用助成を市独自に実施した。

11 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業費

65歳、70歳、73歳、75歳以上の高齢者（要介護・要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者を除く）を対象に、自身の生活や健康状態を振り返り、心身の機能が衰えていないかチェックしてもらうこと、及び生活機能の低下のおそれがある高齢者を早期に把握し、介護予防事業へ繋げることを目的として、市独自に開発した「健康スケール」による調査を実施した。

(2) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防を目的として、運動機能の向上、栄養状態改善、口腔機能の向上、認知症予防の教室を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により教室の一部を中止した。

また、24地区コミュニティ別の健康や社会参加等の現状と課題並びに論点を市民と共に整理し、その解決に向けて楽しみながら健康づくり及び介護予防に取り組み、地区コミュニティの活性化を図るため、市内26公民館において市民ヘルスマーケティングを実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施を見合わせた。

(3) 地域介護予防活動支援事業

市民が体操指導士となり、市民が相互に支えあって地域の健康づくりと介護予防に取り組み健康寿命の延伸を図ることを目的に、リハビリ的要素を取り入れたふなばしシルバーリハビリ体操推進事業を実施した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染対策を講じて、時間や回数等を調整して実施した。

また、介護予防活動の拠点づくりを支援するため、通いの場・体操教室などの地域住民が主体となる団体の活動に対して、活動費の一部を補助した。

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業費

地域の住民主体の団体の介護予防活動に資する活動や、介護職等の質の向上を支援するために、リハビリテーションの知識、技術の指導・助言を行うリハビリテーション専門職等の派遣を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施出来なかった。

また、高齢者に、客観的な足腰の衰え度合いを簡単な2つのテストで自覚してもらうこと、リハビリ専門職等に運動についてアドバイスをもらい、運動機能が維持できるように生活習慣を見直してもらうこと、重篤な場合には地域包括支援センター等への相談を勧奨することを目的として、足腰の衰えチェック事業を実施した。

1.2 各種がん検診及び特定健康診査事業推進検討会

がん検診等の実施状況の報告及び課題の共有、今後の取り組み等について検討する場として、医師等を構成員とする検討会を実施した。

1 特定健康診査・特定保健指導

①船橋市国保の特定健康診査・特定保健指導の目標値

(単位：%)

区分	年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
特定健康診査受診率		50	52	54
特定保健指導実施率		35	40	45

※目標値は第 3 期「船橋市国民健康保険特定健康診査等実施計画」より

②船橋市国保の特定健康診査・特定保健指導実績

区分	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	実施者数 (人)	実施率 (%)
平成 30 年度	83,758	39,443	47.1	4,337	1,334	30.8
令和元年度	80,672	38,700	48.0	4,240	1,415	33.4
令和 2 年度	未集計	未集計	未集計	未集計	未集計	未集計

※令和 2 年度実績の確定は令和 3 年 10 月末のため未集計。

2 胃がん検診

①胃がん検診 エックス線検査 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		3,837	335
令和元年度		3,468	273
令和 2 年度		2,711	238

※平成 29 年度より 40 歳以上の偶数年齢が対象

②胃がん検診 内視鏡検査 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		4,936	77
令和元年度		5,891	74
令和 2 年度		4,373	56

※50 歳以上の偶数年齢が対象

3 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査 (要治療含む)
平成 30 年度		26,405	358
令和元年度		27,259	480
令和 2 年度		23,843	558

※20 歳以上の偶数年齢が対象

4 乳がん検診

①乳がん検診 超音波検査 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		3,650	90
令和元年度		5,194	168
令和 2 年度		4,497	117

※30 歳代の偶数年齢が対象

②乳がん検診 マンモグラフィー 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		18,072	1,908
令和元年度		21,568	2,615
令和 2 年度		17,176	1,876

※40 歳以上の偶数年齢が対象

5 肺がん検診

肺がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査	喀痰細胞診
平成 30 年度		83,964	3,149	1,688
令和元年度		83,828	3,054	1,505
令和 2 年度		74,745	2,401	997

6 大腸がん検診

大腸がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		73,613	5,132
令和元年度		73,088	5,272
令和 2 年度		65,852	4,836

7 前立腺がん検診

前立腺がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 30 年度		5,762	698
令和元年度		5,687	682
令和 2 年度		5,150	567

8 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルス検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	HCV 抗体		HBs 抗原	
			陽性	陰性	陽性	陰性
平成 30 年度		7,736	26	7,697	53	7,672
令和元年度		7,817	10	7,784	41	7,757
令和 2 年度		6,748	14	6,701	22	6,708

9 風しん抗体検査

① 風しん抗体検査 (平成 26 年度より実施)

年度	区分	受診者数
平成 30 年度		3,158
令和元年度		1,533
令和 2 年度		1,111

②風しん抗体検査（追加的対策として、令和元年度より実施）

年度	区分	受診者数
	令和元年度	6,749
	令和2年度	8,833

10 予防接種事業

(1)乳幼児定期予防接種者数

(単位：人)

年度	区分	ロタウイルス	MR※1	日本脳炎	BCG	ポリオ	四種混合※2	ヒブ	肺炎球菌	水痘	B型肝炎
平成30年度	-	-	10,188	21,811	4,943	56	20,057	19,755	19,765	9,671	14,635
令和元年度	-	-	10,024	19,246	4,694	11	18,840	18,152	18,854	9,482	13,607
令和2年度	4,174	4,174	10,028	19,239	4,807	3	19,384	19,651	19,004	9,739	14,256

※1 麻しん・風しん混合

※2 ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ混合

(2)児童・生徒等定期予防接種者数

(単位：人)

年度	区分	日本脳炎	二種混合※3	HPV
平成30年度		6,038	4,635	61
令和元年度		6,043	4,529	231
令和2年度		5,571	5,048	804

※3 ジフテリア・破傷風混合

(3)成人定期予防接種者数（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性）

(単位：人)

年度	区分	MR(麻しん風しん)
令和元年度		1,382
令和2年度		1,671

(4) 高齢者等予防接種者数

(単位：人)

年度 \ 区分	インフルエンザ	肺炎球菌
平成 30 年度	84,713	4,066
令和元年度	90,951	3,664
令和 2 年度	108,088	4,496

(5) ロタウイルスワクチン任意予防接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	利用者数
令和 2 年度	3,693

(6) おたふくかぜ任意予防接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	利用者数
令和 2 年度	3,917

(7) 特別の理由による再接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	利用者数
平成 30 年度	4
令和元年度	2
令和 2 年度	3

(8) 風しん予防接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	妊娠を希望する人	妊娠を希望する人の配偶者等	抗体価が低い妊娠中の人の配偶者等
平成 30 年度	166	79	17
令和元年度	545	161	65
令和 2 年度	469	128	52

1.1 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
健康スケール発送数 (件)	75,005	75,580	81,260

※平成 29 年度までは、65 歳及び特定健康診査・後期高齢者健康診査受診者を基本チェックリストの対象外にしていたが、平成 30 年度からは、これらについても対象とした。

平成 30 年度までは、基本チェックリストとして発送していた。

(2) 介護予防普及啓発事業

1) 介護予防教室

① 総合型 5 回コース

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施コース数	55	45	25
参加者数 (人)	429	565	254

② 総合型 8 回コース

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施コース数	73	44	17
参加者数 (人)	545	522	226

③ 認知症予防 5 回コース

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施コース数	42	41	13
参加者数 (人)	482	498	214

④ 柔道整復師運動型 8 回コース

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施コース数	30	30	18
参加者数 (人)	191	211	106

2) 市民ヘルスマーケティング

区分 \ 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催回数 (回)	52	52	0
延参加人数 (人)	1,886	2,153	0

(3) 地域介護予防活動支援事業

①ふなばしシルバーリハビリ体操教室（市主催）

年度 会場	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	実施回数 (回)	実施人数 (人)	実施回数 (回)	実施人数 (人)	実施回数 (回)	実施人数 (人)
保健福祉センター	0	0	0	0	0	0
公民館（共催）等	309	9,748	282	10,511	45	858
出前講座	23	617	17	361	1	12
その他	5	190	5	316	0	0
計	337	10,555	304	11,188	46	870

②ふなばしシルバーリハビリ体操教室（指導士主催）

年度 区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催場所数（か所）	81	95	35
指導士（総数・人）	4,338	5,158	725
参加人数（総数・人）	22,818	23,139	2,298

③初級指導士養成実績

年度 区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
養成コース数	6		6		0	
養成指導士数（人）	145		94		0	
性別内訳（人）	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	30	115	25	69	0	0

令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、1 コースが途中で中止、養成が次年度へ延期となっている。

④上級指導士養成実績

区分	年度	平成 30 年度	
	養成コース数		1
養成指導士数 (人)		10	
性別内訳 (人)	男性		女性
		2	8

⑤アクティブシニア介護予防補助金事業

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
補助団体数	71	74	65

(4)地域リハビリテーション活動支援事業

①リハビリ職等派遣支援事業

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
のべ派遣団体数	10	15	0
のべ派遣人数	11	19	0

②足腰の衰えチェック事業

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数 (件)	217	398	639

※平成 30 年度についてはモデル事業とし、2 地区コミュニティ（海神・高根台）で実施した。令和元年度および令和 2 年度もモデル事業として、令和元年度は 9 地区コミュニティ（宮本、海神、中山、法典、高根台、前原、薬円台、二和、豊富）で、令和 2 年度は 16 地区コミュニティ（宮本、海神、中山、法典、葛飾、夏見、高根台、新高根・芝山、前原、薬円台、三山・田喜野井、習志野台、二宮・飯山満、三咲、八木が谷、二和）で実施した。

1 2 各種がん検診及び特定健康診査事業推進検討会

年 度	検討会開催回数
平成 30 年度	2 回
令和元年度	2 回
令和 2 年度	1 回

※令和 2 年度の検討会については書面にて開催した。